

就職氷河期世代の雇用確保促進に向けた指定都市市長会共同宣言

いわゆる就職氷河期世代は、現在、30代半ばから40代半ばに至っているが、雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、その中には、希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、あるいは無業の状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。

国においては、「経済財政運営と改革の基本方針2019」において掲げた、「就職氷河期世代支援プログラム」により、3年間でこの世代の正規雇用者を30万人増やすことなどを目標に、相談・教育訓練から就職まで切れ目のない支援などに取り組むこととしている。

一部の地方自治体でも就職氷河期世代への支援を実施するなど取組が始まっているが、地域活性化等も勘案しつつ、圏域の中核として地域を牽引する指定都市が就職氷河期世代への支援に取り組むことで、民間企業や周辺自治体に大きなインパクトを与え、全国でその取組を加速させることが期待できる。

よって、指定都市は地域の実情に応じ、就職氷河期世代への支援を行っていくことを宣言する。

令和元年12月19日
指定都市市長会